

キャビテーションプラズマ殺菌水で実現する持続可能な農業

～食糧の安定供給と化学農薬削減の両立を目指して～

株式会社 YSH 総合研究所

代表取締役社長 おか よしひろ 岡 好浩

キーワード

持続可能な農業、殺菌水技術、SDGs



起業概要

【起業目的】

世界的な食糧需要の増加と、化学農薬の使用による環境・健康リスクという二つの大きな課題を同時に解決するため、兵庫県立大学の研究成果を社会実装することを目的として設立されました。私たちは「安心・安全な持続的農業の実現」を目指し、大学発の技術で農業の未来に貢献したいと考えています。

【事業内容・企業ビジョン】

当社は、キャビテーションプラズマ（CBP）技術を活用した殺菌水およびその生成装置の開発・販売しています。この技術は、普通の水に特殊なプラズマ処理を施すことで、強い殺菌力を持つ水を生み出すものです。この殺菌水は、植物病原菌に対して 98%以上の高い阻害率を示し、しかも人や環境に対して安全です。化学農薬に依存せず、既存化学農薬と同等のコストで利用できることを目指して、開発・改良を進めています。私たちのビジョンは、まず日本国内の有機農業先進地域でこの技術を普及させ、やがて全国、さらには海外にも展開し、「食糧の安定供給」と「化学農薬削減」を両立できる持続可能な社会の実現に貢献することです。

【社会への提供価値】

私たちの技術は、「食糧の安定供給」と「化学農薬削減」を同時に実現できる点が最大の価値です。殺菌水は有機農業の普及や環境負荷の低減に役立ち、農業現場の省力化やコスト削減にもつながります。また、殺菌水の安全性は動物実験や遺伝毒性試験でも確認されており、消費者にとっても安心して食べられる農産物の生産に貢献します。将来的には、すべての人が「安全でおいしい食べ物を好きなだけ食べられる世界」を目指し、持続可能な農業技術の社会実装を進めていきます。



メッセージ

私たち YSH 総合研究所は、大学の知と現場の課題解決力を融合し、農業の未来を切り拓きます。

産学官の皆さまとともに、安心・安全な食の供給と持続可能な社会の実現を目指します。

ご関心のある方は、ぜひご連絡・ご相談ください。新たなパートナーシップをお待ちしています！